

サービス推進室では、医療安全に関する情報を収集し、看護現場で役立つポイント等を付加して提供しています。それぞれの現場に応じた点検ツールとしてお役立てください。

No.1

1歳女児へのインスリン過剰投与事例が発生しました。

女児は手術を受けた後、血中カリウム値が上昇したため、術後3日目からグルコース・インスリン療法が開始されました。全身状態は安定していましたが、4回目の施行中に急変しました。血液検査の結果、著明な低血糖を認め、さらに輸液に使っていた点滴を調べたところ、インスリンが含まれていたことが考えられました。病院は事例の経緯を調査し、「ダブルチェックでの確認が機能しなかった」として、マニュアルに改定する

病院・施設を問わず、インスリンはハイリスク薬であるという認識をあらためて確認しましょう。

《参考》 三重大学医学部附属病院において発生したインスリン過量投与事故と再発防止について
<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/wp-content/uploads/20180928.pdf>